

「ぬまづ茶」新茶をお届け

新茶の季節となりました。今年も安全・安心な、おいしい「ぬまづ茶」をお届けします。みなさん、是非おいしい新茶をお試しく下さい。

■「ぬまづ茶」の概要

ぬまづ茶は、愛鷹山南麓の丘陵地に広がるおよそ600haの茶畑で生産されています。市内には53の製茶工場が稼働し、生産される荒茶の多くは静岡茶市場等へ出荷されますが、約7割の製茶工場が直販も行っており、普通煎茶や深蒸し煎茶など様々なお茶を、直接消費者の皆さんへお届けしています。

■安全・安心なぬまづ茶（放射性物質検査の結果）

昨年は、東日本大震災に伴う福島第1原発事故により、沼津のお茶も風評被害を受けました。今年も、静岡県の実施している放射性物質検査（市内3か所の製茶工場）及びJAなんすんの自主検査（市内52の製茶工場、1工場は単独で検査を実施）の結果、放射性セシウム含有量は、国の基準値（1kg当たり10ベクレル）に対し、いずれも検出されず、安全であることが確認されました。

■今年のぬまづ茶

冬の厳しい寒さや4月の日照時間が短かった影響などで生育が遅れて、例年より新茶の出荷が遅くなりましたが、今年も良質のおいしいお茶ができました。どうぞお試しく下さい。



新茶PRの様子（5月2日 西部産直市KAU～ら）



愛鷹地区の茶園